

令和6年度第2回越谷市文化財調査委員会

日 時 令和6年10月7日（月）午後2時～
会 場 越谷市役所第二庁舎3階 教育委員会室

次 第

- 1 開 会
- 2 協議事項
（1）文化財指定について
- 3 そ の 他
（1）現地研修会について
- 4 閉 会

— 越谷市文化財調査委員名簿 —

(任期：令和5年8月1日～令和7年7月31日)

(50音順 敬称略)

No.	氏 名	所属・役職等	任 期
1	いた がき とき お 板 垣 時 夫	埼玉県文化財保護協会 副会長	R7.7.31 まで
2	か とう こう いち 加 藤 幸 一	元越谷西特別支援学校 教諭	R7.7.31 まで
3	たか さき こう じ 高 崎 光 司	元埼玉県立越ヶ谷高等学校 教諭	R7.7.31 まで
4	はし もと ゆういちろう 橋 本 雄一郎	越谷市立平方小学校 主幹教諭	R7.7.31 まで
5	はた の ひで あき 秦 野 秀 明	NPO 法人越谷市郷土研究会 副会長	R7.7.31 まで
6	はやし たかし 林 貴史	久喜市文化財保護審議会 委員	R7.7.31 まで
7	や ぐち たか えつ 矢 口 孝 悦	元羽生市教育委員会 事務局職員	R7.7.31 まで

2 協議事項

(1) 文化財指定について

<指定候補 1> 青い目の人形(付 パスポート他)

(1)種別・種類	有形文化財・歴史資料
(2)名 称	青い目の人形(付 パスポート他)
(3)員 数	6点
(4)所 在 地	埼玉県越谷市大沢二丁目13-21 埼玉県越谷市大竹147
(5)所 有 者	越谷市教育委員会(大沢小学校・大袋小学校)

1 概要

青い目の人形(友情人形)はアメリカとの政治的緊張が高まっていた昭和 2 年に日米友好の象徴として日本のひな祭りに合わせてアメリカから贈られてきた 11,975 体の人形。そのうち埼玉県内には 178 体の人形が配布され、現在 11 カ所 12 体の人形が現存している。旧大沢尋常小学校へ配布された1体が、現在の大沢小学校に現存している。

2 指定対象 6点

- ①青い目の人形 ②パスポート ③「友情の手紙」 ④市松人形
⑤受領会の写真(2点:大沢小学校・大袋小学校)

3 資料概要

令和 6 年 8 月 23日大妻女子大学 是澤博昭教授による資料調査を実施

①青い目の人形

(1)規格

像高:40.0cm 頭頂部から顎:11.0cm
耳張:9.0cm 股下:15.0cm
背中の発声機:直径 5.5cm

(2)特徴

- ①製造元 米国アベレル社製「マダムヘンドレンドール」。
- ②構造 ・おがくずなどを固め、型抜きして作られたコンポジションドール
 ・頭部から肩部までが一体となっている。
 ・腹部には「ママ」と叫ぶ発声機が付いている。(壊れている)
 ・胴部は発声機を布などでくるみ成形している
 ・腕と足は頭部などと同じ素材で、押型で作っている。
 ・手足は可動式。
 ・寝かせると瞼を閉じるオープンアイ工法となっている
 ・瞳は義眼を使っている。
- ③その他 ・人形の背中には「GENUINE MADAM HENDREN DOLL 216」と体部に印字されている。
 ・服装は、帽子、マント、肌着、カーディガン、ズボン、靴
 ・着ている服は米国の子供たちの手づくりだと思われる。

(3)写真



(写真1)正面



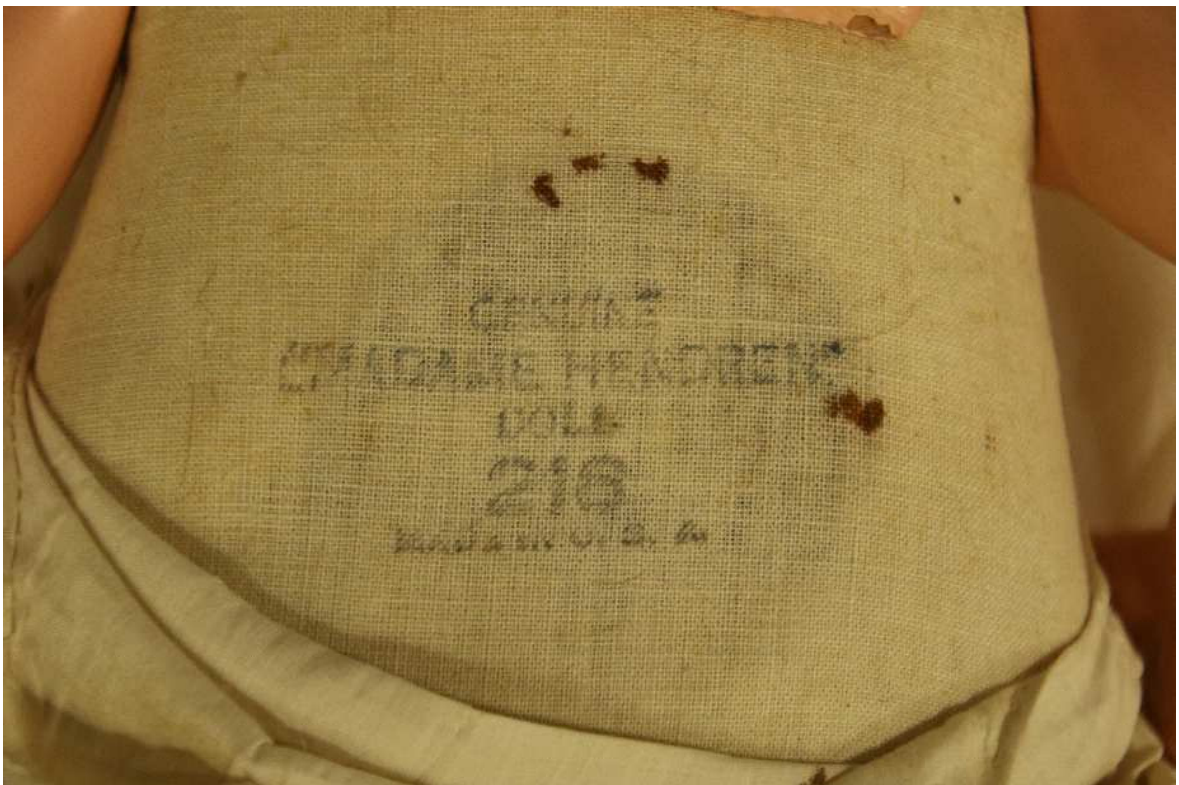
(写真2)瞳を閉じている



(写真3)服を脱がした状態(帽子・靴)



(写真 4)着衣(マント、肌着、カーディガン、ズボン)



(写真5)発生機 「 GENUINE MADAM HENDREN DOLL 216 」

②パスポート

パスポートの様式は全国で確認されているパスポートと同一のもの。形状は、広げた状態で、幅 17.5cm、高さ 15.5cm、両面印刷二つ折り。

- (1)表紙 「人形査証」との表題があり、「日本帝国総領事館在証」の印が円形に印刷されている。
- (2)二面 日本の子供たちへのメッセージとなっており、人形の名前が書き込めるものとなっている。
- (3)三面 人形の概要が書き込めるようになっている。右下の人形の写真は共通のもの。また、日本行の鉄道の片道切符と星条旗のタグが張られている。
 - ・名前 Maetha Heath(※マーサ・ヒース)
 - ・目の色 Blue(青)
 - ・髪の色 Dark Brawu(※ダークブラウン)
 - ・鼻 記載なし
 - ・口 記載なし
 - ・出生地 Manchester ●.●.
- (4)四面 日の丸と星条旗、「特別旅行免状」と印刷されている。四面上部には「No.4,869」と個別番号がタイプされている。これは、三面にある鉄道の切符と同じ番号になっている。

<写真>

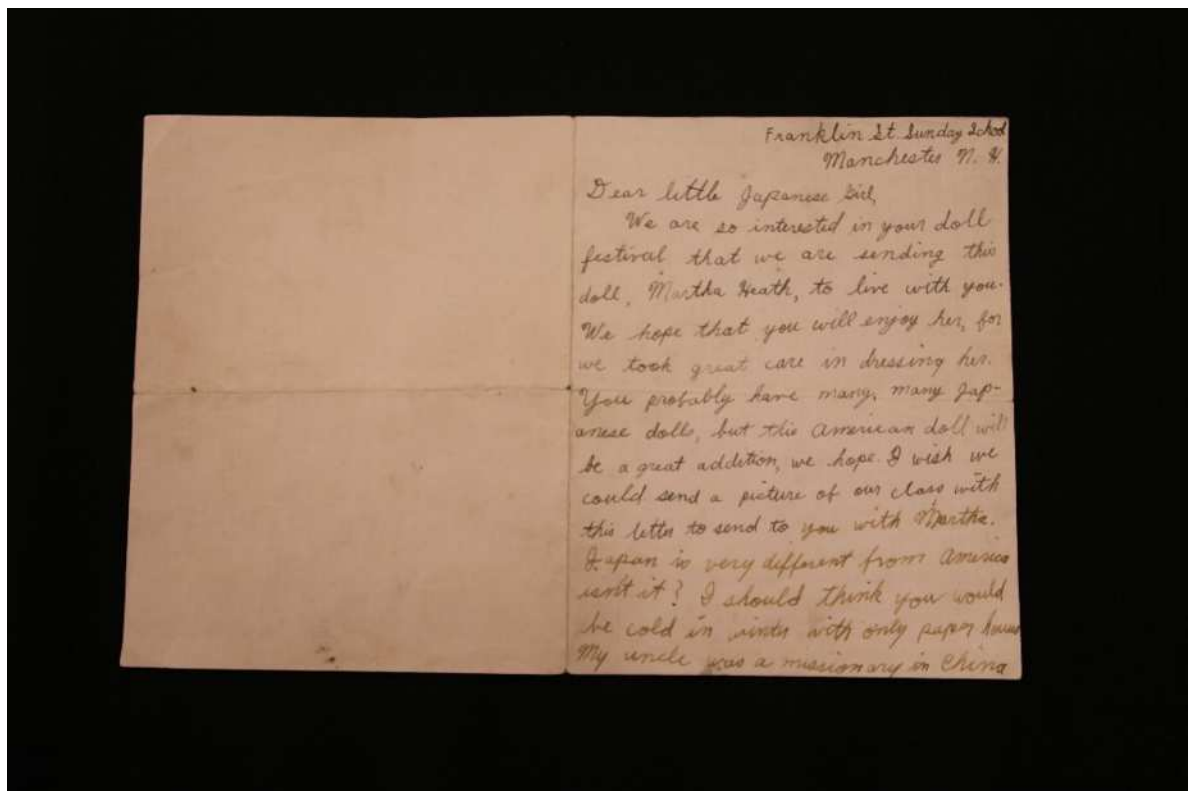


【写真6】（表紙）（四面）

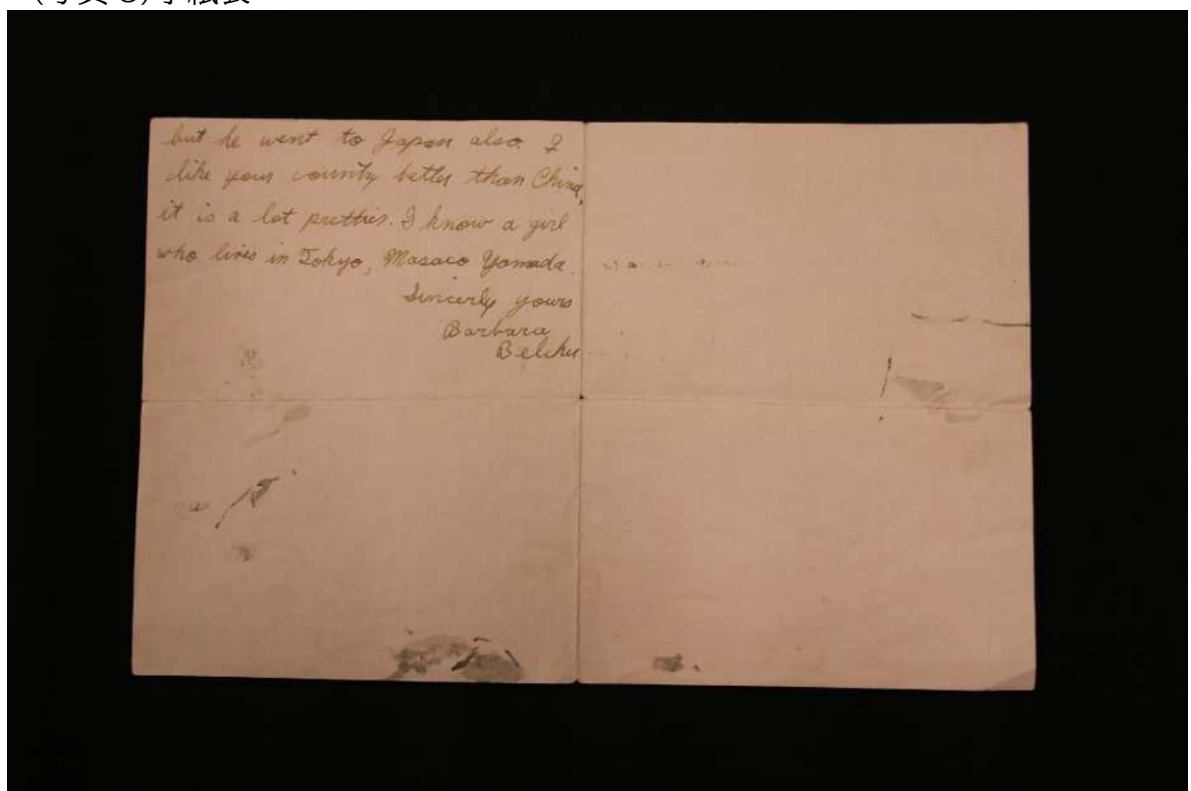


【写真7】（二面）（三面）

③「友情の手紙」



(写真 8)手紙表



(写真 9)手紙裏

<参考> 訳文(大沢小学校蔵)

マンチェスター市フランクリン街日曜学校

親しい日本の少女 私たちは貴方の国の雛祭りが好きです。此の人形ワータヘズを貴方と一緒に暮らすためにお送りいたします。私たちは貴方がワータヘズを可愛がってくれることを望みます。その為にワータの着物については大変心配しました。貴方は多方沢山の(日本)人形をお持ちでしょうが此のアメリカの人形を添えてもらいたいと思います。ワータと一緒に貴方に送るこの手紙に添えて私たちの組の絵を送りたいと思います。

日本はアメリカと大変違っているでしょうね。貴方は紙の家で冬はさぞ寒いだろうと思います。私のお叔父さんは支那で宣教師を行っておりまして。日本へもまた行きました。私は支那よりも貴方の国が好きです。日本の国は大変美しい。私は東京に居る山田マサ子さんを知っております。

バルペラ・ベルチューより

マンチエスター市フランクリン街日曜学校
親しい日本の少女 私達貴方の国の雛祭りが好きです。此の人形ワータヘズを貴方と一緒に暮らすためにお送りいたします。私たちは貴方がワータヘズを可愛がってくれることを望みます。その為にワータの着物については大変心配しました。貴方は多方沢山の(日本)人形をお持ちでしょうが此のアメリカの人形を添えてもらいたいと思います。ワータと一緒に貴方に送るこの手紙に添えて私たちの組の絵を送りたいと思います。

日本はアメリカと大ヘン違ワテ居ルデセウネー
貴方ハ紙ノ家ヲ冬ハサゾ寒いカトモトモ思ハス。私ハ叔父サンハ支那ニ宣教師ヲ行ッテ居リマシタ日本ヘモ又行キマシタ。私ハ支那ヨリモ貴方ノ國ガ好きデス。日本ノ國ハ大ヘン美シイ。私ハ東京ニ居ル山田マサ子サンヲ知ッテオリマス。

バルペラ・ベルチューより

(写真 10) 訳文(大沢小学校蔵)

④市松人形

- (1)名前 大沢愛子 と伝わる
(2)製造社 不明
(3)形状 像高 43cm、頭頂から顎まで 11cm
(4)構造 顔は回り、髪は黒く固い素材。手先、足先以外は藁。瞳は義眼。
腹部に泣き笛が入っている。(壊れている)
(5)服装 赤い生地にはボタンや菊の模様の振袖を着て、帯を締め、帯留めを付けている。帯は背中で「立て矢の字結び」としている。素足。
⑥その他
・名前の根拠は不明
・材質・形状などから当時青い目の人形のお友達として用意された日本人形にまちがいない。
・日本人形は青い目の人形が配布された学校単位で用意したもの。それぞれの学校内・学区内で一番良い人形を持ち寄っている。
・和服と帯は当時のものだろう。衣装付きで買うと高いので、裸で売られている場合もある。
・髪の毛は人毛ではないか。



(写真 11)寝かせた状態(正面)



(写真 12) 寝かせた状態(背面)

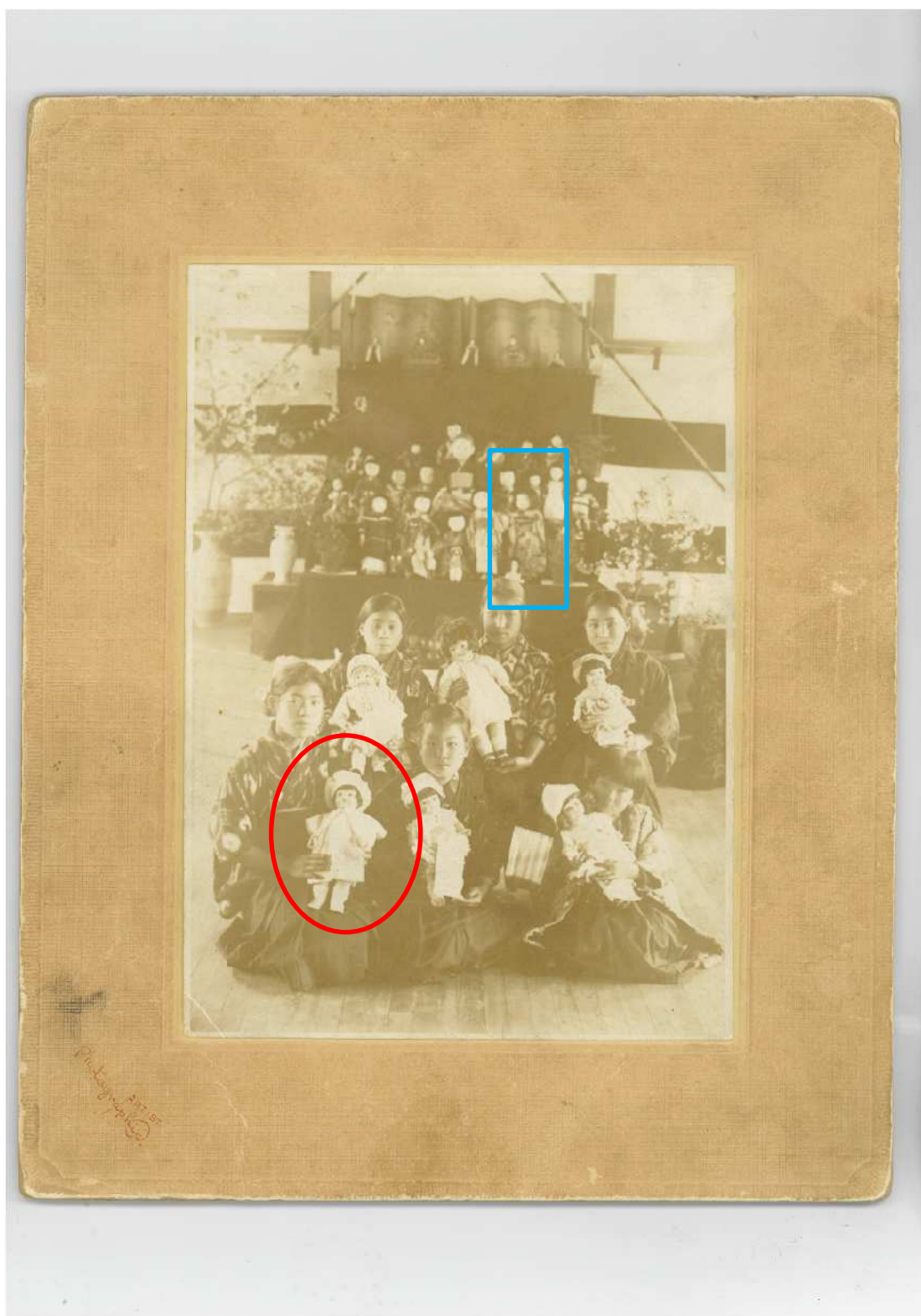
⑤受領会の写真(2点:大沢小学校・大袋小学校)

人形受領会とされる写真が大沢小学校に1枚、大袋小学校に1枚、計2枚が現存している。

写真の表題は長崎歴史文化博物館が2007年に実施した「青い目の人形と長崎^{なまこ}子展」の図録で「南埼玉郡教育会 越谷支会受領会」と紹介されている。令和6年2月に長崎県庁に確認したところ、図録キャプションの根拠は不明とのことであった。

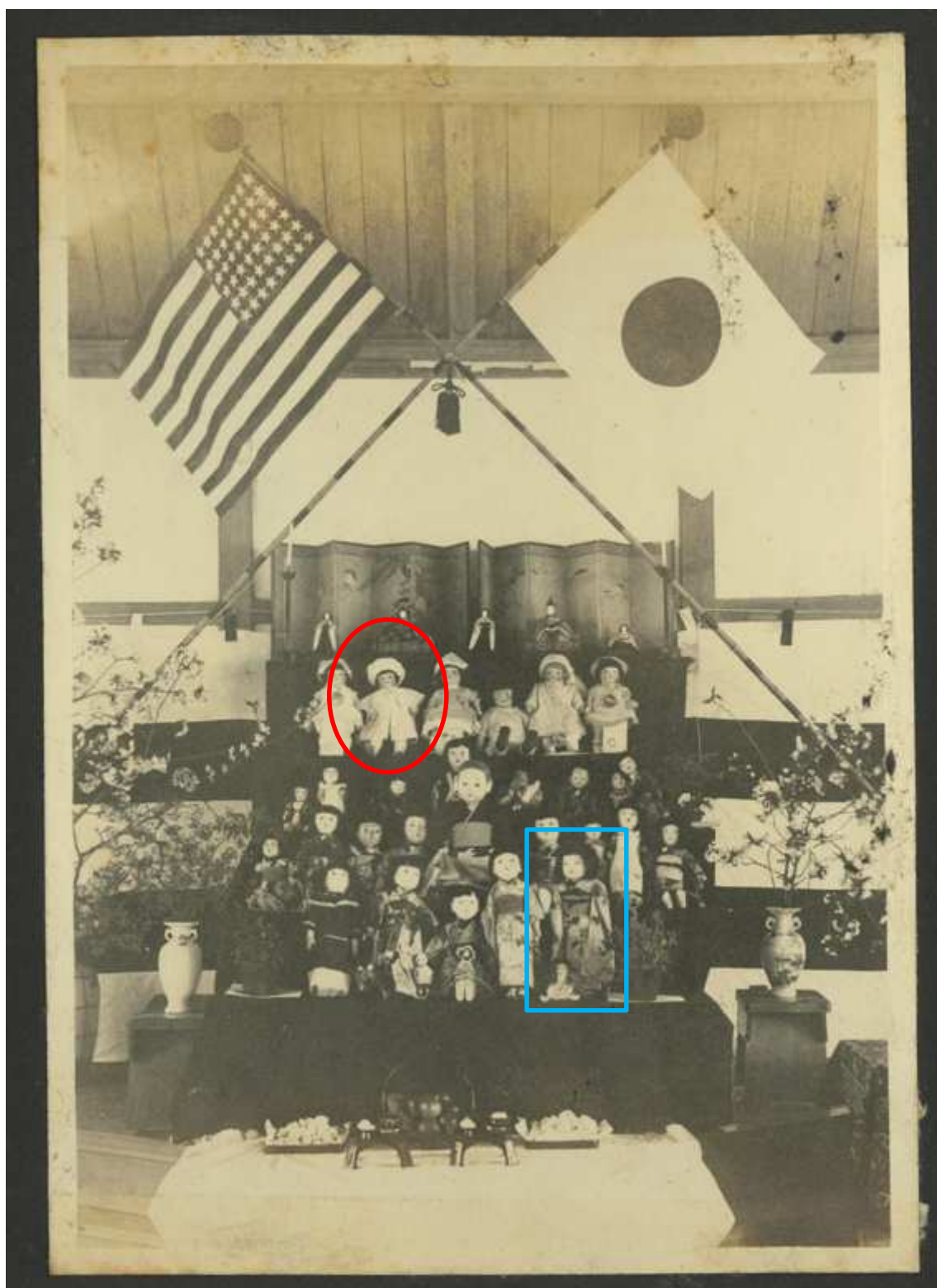
大沢小学校所蔵写真(写真13)は子供たちが人形を抱きかかえている写真。奥には日本人形が並んだ雛壇がある。写真手前で6人の少女に抱きかかえられている人形のうち、前列一番左端の少女が抱きかかえている人形が帽子をかぶり広い襟のついたコートを着ていることから、大沢小学校蔵の青い目の人形と思われる。また奥の雛壇の市松人形は、和服の模様などから一列目右端が大沢小学校所蔵の市松人形と思われる。

大袋小学校所蔵写真(写真13)は雛段部分の近景写真。最上段に6体の人形が飾られており、その前に市松人形が飾られている。最上段左から二つ目が大沢小学校蔵の青い目の人形と思われ、最前列の右端が大沢小学校所蔵の市松人形と思われる。



(写真 13)

赤丸が青い目の人形、青四角が市松人形



(写真 14)

赤丸が青い目の人形、青四角が市松人形

<指定候補 2> 越ヶ谷小学校校務日誌

(1)種別・種類	有形文化財・歴史資料
(2)名 称	越ヶ谷小学校校務日誌
(3)員 数	4冊
(4)所 在 地	埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
(5)所 有 者	埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号 越谷市教育委員会

1 概要

越谷市立越ヶ谷小学校には昭和 15 年度から平成 30 年度までの約 78 年間分の学校の記録が保存されていた。それぞれ当直日誌・宿直日誌・日誌・校務日誌など作成した年度によって名称は異なるが、学校での出来事などを中心に書かれている。

2 数量 80 冊

No.	資料名	数量	年度	校名	備考
1	当直日誌	1	昭和 15 年	越ヶ谷尋常高等小学校	
2	宿直日誌	1	昭和 15 年度	越ヶ谷尋常高等小学校	
3	宿直日誌	1	昭和 16・17 年度	越ヶ谷国民学校	S17. 4. 28 日まで
4	日誌	2	昭和 17 年度	越ヶ谷国民学校	2分冊
5	校務日誌	3	昭和 19・20・21 年度	越ヶ谷国民学校	
6	校務日誌	1	昭和 22 年度	越ヶ谷小学校	
7	校務日誌	2	昭和 23・24 年度	越ヶ谷小学校	
8	学校日誌	39	昭和 25～63 年度	越ヶ谷小学校	
9	校務日誌	30	平成元～30 年度	越ヶ谷小学校	
合計		80			

※文化財指定候補として諮問している資料

No.5 校務日誌 3冊 昭和昭和 19・20・21 年度 越ヶ谷国民学校

No.6 校務日誌 1 冊 昭和 22 年度 越ヶ谷小学校

<指定候補 3> 瓦曽根溜井防水記念碑

(1)種別・種類	有形文化財・歴史資料
(2)名 称	瓦曽根溜井防水記念碑
(3)員 数	1基
(4)所 在 地	埼玉県越谷市相模町一丁目 谷古田河畔緑道スポット広場
(5)所 有 者	埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号 越谷市

1 概要

明治 23 年行田市で利根川の堤防が決壊し、瓦曽根溜井の堤防が決壊すると下流域の東京が水没してしまうことから、東京からも応援の人々が駆け付け、土俵積みなどを行い難を免れたことを示す石碑。題字は「日本近代郵便の父」と呼ばれる前島密によるもの。

2 所在地



3 規格

高さ 280cm

幅 150cm

厚さ 7 cm

4 写真



水 井 根 瓦
記 防 溜 曾

(1)正面



(2)裏面 首唱者・賛同者

四 瓦曾根溜井防水記の碑銘

(所在) 瓦曾根堤傍(高30cm・幅30cm・厚7cm)

(表題)

《瓦曾根溜井防水記》 從三位勳三等前島密篆額
大凡農之所患者二曰旱魃曰洪水而如旱魃雖或可得
避之至夫洪水沒田漂屋則不能奈之何也抑我郷之爲
地也水脈縱橫大宜澆漑以故雖鮮旱魃之虞至所謂洪
水之害則未嘗能免也明治二十三年八月風雨會起連
日不止關東諸川皆漲而利根川特甚此月二十三日夜
風烈水激下中條堤防遂爲其所潰決於是洶浪騰躍直
汎濫于葛西見沼入葛西者忽溢于松伏溜井入見沼者
忽溢舊荒川二十五日昧爽二流相合大溢于此地堤防
將決而此堤防通四水門而爲下流諸村水利之咽喉故
一傳其急報也諸村鳴鐘警之人人執鋤鍤奮然防之時
上流之對岸大林之堤防潰決水勢奔放蕩蕩壞家浩浩
材樹號哭之聲與警鐘之聲喧然相和其慘狀使人悚然
堅毛髮矣二十八日風雨復起加以雷鳴水量暴加狂瀾
怒濤增吐澎湃觸堤岸既而水量益加高於堤上殆尺
餘乃檢水標測迄十三合餘而聽其溢溢者唯有土豚而
已策極衝盡衆皆失色其危機之間實不容一髮也因求
援於東京府不論晴雨夜設篝火百方防禦事值得止方
是時下流古利根川之對岸木賣之地堤防亦潰決水勢
少弱警戒尙嚴最後風雨稍收水量漸減以九月十日始復
平常衆爲開愁眉夫此洪水出於利根川溢流實浸我埼
玉縣之一半然而此地偶免危急蓋我郷之幸也願此防
水之事固雖曰偶然自非人人晝夜不交睫狂奔不休體
以百方防禦焉能得如此乎哉嗚呼衆人之於防水可謂
勉矣勒諸石以告後人

明治二十六年歲次癸巳一月

首唱者記 東京樋口敬三書 青木宗次鐫

(裏面) (首唱者 大相模村鈴木仁太郎以下六名)

(賛成者 十四名を刻む)

首唱者

大相模村	□木仁太郎
蒲生村	中野柳助
□柳村	深井七郎兵衛
□條村	鈴木仁左衛門
□幡村	□水圭太郎
潮止村	田中半左衛門

賛成者

大相模村	有志者總代
	秋山英次郎
	同 吉重郎
	□□□□□
	斎藤孫兵衛
蒲生村	同 中村信太郎
	大熊安右衛門
□柳村	同 藤波傳左衛門
	豐田貞治
八條村	同 會田惣次郎
潮止村	同 佐藤乾信
□□村	同 田中彦太郎
草加町	同 戸塚弥吉
東京府	葛西洲江領有志者

<指定候補 5> 越谷隕石

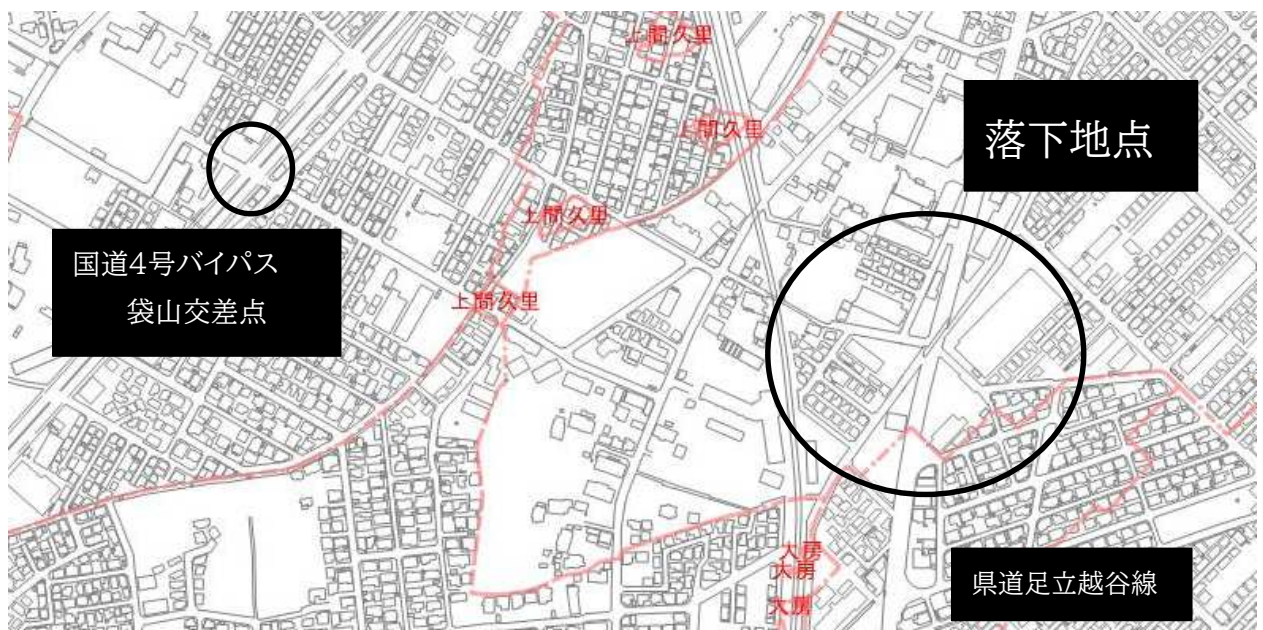
(1)種別・種類	記念物・天然記念物
(2)名 称	越谷隕石
(3)員 数	1点
(4)所 在 地	埼玉県越谷市大里 845-1
(5)所 有 者	埼玉県越谷市大里 845-1 中村 勉

1 概要

令和5年2月23日、国際的な隕石の認証団体である国際隕石学会に「越谷隕石(Koshiga ya)」として登録された隕石。

明治35(1902)年3月8日の明け方に火山の噴火したような音がして、埼玉県南埼玉郡桜井村大字大里(現在の越谷市)の中村喜八氏の田畑に大きな穴が開いたとされ、当時大きな穴から取り上げた隕石は子孫の中村氏個人で保管している。

2 落下地点 県道足立越谷線大林下交差点北側オートボックス付近



3 写真(科学博物館広報資料より)



3 その他

(1) 文化財指定について

(1) 現地研修会について

1 現地研修日

令和 6 年10月12日(土)正午から14時
(越ヶ谷秋まつりは10月12日・13日)

2 集合時間及び場所

正午 市役所エントランスホール

3 研修目的

研修日は久伊豆神社からの神輿渡御、山車の曳廻しが行われることから、行事の様子を把握する。

4 スケジュール

時間	神輿・山車	文化財調査委員
9時50分 10時20分 11時00分頃	★久伊豆神神輿発輿式 開式 ★神輿渡御開始（神社出発） ★神輿旧道到着（大沢齒科前） ※商工会議所付近 ⇒以降、山車8台が神輿について町内を曳廻す	
12時00分	★行列を先頭に山車8台が御仮屋へ向かって町内を曳き廻している	■市役所エントランスホール集合、移動 行列、山車通過の様子を見学 ⇒通過後、御仮舎へ移動。神輿迎えの様子を見学
13時20分頃	★神輿御仮舎到着（本町二丁目） ※河内屋旅館駐車場	■御仮舎での式典見学
14時00分頃	★式典終了・山車曳き落とし開始（御仮舎から各町会へ戻る）	■式典終了後、山車が曳落とし開始を目処に解散
16時00分 ～18時10分	★（第1回目）山車曳廻し	
19時00分 ～21時10分	★（第2回目）山車曳廻し	